

# 中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1412号 令和6年8月15日号

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 今は「独立しない」が台湾と中国の共通認識……………本紙編集部…………… | 1 |
| パレスチナ支援運動の陰に中共の政治戦……………             | 1 |
| バングラデシュの安定化を助けよう……………               | 2 |
| 「市長が中国スパイ」のフィリピンを、日本は笑えない……………      | 3 |
| 台湾・高雄に安倍元首相の銅像を建てた人たち……………          | 3 |
| 各地に広がり「ペイフォワード運動」……………              | 4 |
| 黒潮大蛇行で瀬戸内海がドブになる……………               | 5 |
| <b>読者投稿</b> 能登半島地震 現地の声〈第5回〉……………   | 5 |
| 憲法改正議論の今後は「親ワシントン保守」に警戒……………        | 7 |
| 小学校の「学校崩壊」が深刻だ……………                 | 7 |

本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5  
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com  
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)  
ホームページ <http://大日本生産党.com/>

発 行 所  
**中 央 情 報 通 信 社**  
編集長／谷田 透

9月は発行をお休み致します

# 今は「独立しない」が台湾と中国の共通認識

本紙編集部

台湾国防安全研究院の王尊彦(写真)は、日本の筑波大学と東京外大で博士号を取ったエリートである。台湾政府系シンクタンクの代表的な研究員である王尊彦は、世界日報の独自インタビューに答えて、「独立せず」と言う認識が共通している間は両者は戦争に踏み込みないと言っている。

彼の分析によると、新総統の頼清徳が一月十三日の総統就任確定時の演説で行なった「兩岸人民の福祉を増進する」という内容の発言は、中国に対するメッセージだと理解できるそうだ。新総統が「台湾は自分たちの福祉だけでなく、中国側の福祉も考えている」と発言することで、「台湾独立宣言はしない」という意味を伝えていると言う。

三月の北京全人代の中で、李強首相は「兩岸同胞の福祉を増進する」と語り、台湾からのメッセージを受け取ったというシグナルを返してきた。

中共務院台湾弁公室では、つい最近まで頼清徳を「台湾独立分子」と烙印して罵詈雑言を浴びせていたのだが、一月十三日の頼清徳の発言以降は「台湾地区指導者」という言い回しで、ややソフトに圧力を掛ける形になっている。両国関係が新しい局面になろうと動き始めたのは誰の目にも明らかだ。新総統は就任式で「中華民国憲法遵守」を宣言したが、憲法に従えば「独立宣言」は行なわないと言うことになる。この憲法遵守宣言は、非常に重要な意味を持つと見られている。

ところが中国側では、習近平の四期目の必須条件として「台湾統一」が挙げられている。香

港を統一したように、台湾も統一することが習近平の「偉大な業績」だと考えられているのだ。中共中央政治局に、習近平に反論できる人物は誰も居らず、人民解放軍にも習近平の命令に待たをかけられる人物は居ない。つまり、台湾を攻撃するもしないも、習近平の腹ひとつだと言うことになる。それを承知で、頼清徳はメッセージを先に送ったのである。戦略的なアリバイを作ったことだろう。



最大の懸案である「安全保障」に関してだが、台湾国防安全研究院としては明確に「中国の意図と能力の問題」だとしている。習近平の中共には、台湾統一の意図はあるが、台湾軍と国際協力軍の合同戦力に対して、中国軍では「能力が不足」という結果が明白すぎる。いくら中国のコンピュータが依怙最良の分析をしても、中国軍が台湾を目的通りに軍事制圧できるとは言わないだろう。ほぼ敗北が見えている戦争に突っ走るほど、中共は愚かではない。

唯一、台湾側が誤解しているのが、有事の際に日本から自衛隊が応援に駆けつけると信じていることだ。世論調査でも四三・一％が日本の参戦を信じているし、「台湾有事は日本有事」という歴代政権のサービストークを真に受けている。アメリカ軍が台湾軍と一緒に戦ってくれると答えた人が三四・五％なので、如何に日本を信じて頼りにしているかが判る。それを聞いて、日本の政権は恥ずかしくないのだろうか。いくら憲法上の制約があると言っても、現実的には「日本政府は嘘をついている」ことになる。本当にそれで良いのか。

## パレスチナ支援運動の陰に中共の政治戦

イスラエルのネタニヤフ首相が、引っ込みがつかなくなつて、益々激しさを増しているパレスチナとの戦争だが、アメリカの大学キャンパスを主要戦場にパレスチナ支援運動が盛り上がっている。ジョン・F・ケネディ国際空港がパレスチナ支援組織のデモによって封鎖されたこともあり、十一月の大統領選挙にも影響が出ると見られている。

アメリカ国内でパレスチナ支援運動を主導しているのは「極左」と認定されている団体ばかりで、それらがアメリカ社会で「生活苦」「就職難」などの不満を持つ貧困層や若年層を動員して、都市部での社会インフラを麻痺させる活動を展開している。

実はこのパレスチナ支援運動には明確なスポンサーが居る。ネビル・ロイ・シンガムという

IT企業の創業者である。彼は有名な「毛沢東主義者」であり、上海の「馬酷文化通信」という中共系謀略組織のメンバーでもある。彼は自分が所有するソフトウェア企業を売却した約一、〇〇〇億円を「ゴールドマンサックス慈善基金」をトンネルに利用して、アメリカ国内で活動するパレスチナ支援の極左組織に資金提供していることが判明している。

陰で彼らをコントロールしている中共の思惑は、アメリカ国内の社会に不満を持つ国民はパレスチナ支持であり、反イスラエルだというレッテルを貼りたいのだ。つまり、イスラエル側を



支持する人も、アメリカ国内の特権階級に属していたり富裕層に属していたりする「貧乏人の敵」だと規定したいのだ。さらに彼らが支持する共和党のトランプは敵側だ：とレッテルを貼りたいのだ。

中共が期待している民主党左派のハリスが大統領になれば、アメリカは確実に国力を落とし、移民の受け入れを底なし状態にすると考えられている。その日に向けて「ゴールドマンサックス慈善基金」をトンネルに利用したパレスチナ支援組織への資金提供は、益々活発になると見られている。

## バングラデシュの安定化を助けよう

バングラデシュという国のことは詳しく知らないが、日本とバングラの国旗が色違いで同じ日章旗のデザインだという事は知っている：という日本人は多いだろう。その程度に我が国との付き合いは薄くなっている。だが、トルコと同様に、世界的にも指折りの「親日国」だということを知っておくべきだ。

バングラは戦後に出来た新しい国で、英国が植民地統治を放棄してから、インドの両側にイスラム教を置いて「東パキスタン」「西パキスタン」という国を作った所から始まっている。民族も文化も言語もまるで異なるが、イスラム教を主体としてヒンズーや仏教を抑圧する国を無理に作る目論みが英国にはあったのだろう。もう五十年以上も前になるが、東パキスタンが独立運動を起こしてバングラデシュになった時から、日本の戦後復興を手本とし、バングラの大統領が来日して「国旗の色違いの日章旗にしたい」と申し入れたのだ。その時から、バングラは屈指の親日国となり、親日民族を抱えるアジアの弟となったのである。



希望すれば優先的に公務員になれる制度が出来ていたが、これは中共で毛沢東と一緒に紅軍で戦った人の子どもたちを「太子党」として特権を与えたことと似て、評判は悪かった。現在は、日本外務省からバングラには渡航禁止の警戒情報が流されており、国内の混乱は想像以上らしいが、国内で内乱が起こっている原因が「バングラ版太子党」の廃絶問題にあるから気になる。昨今のバングラは就職難で、優秀な若者でも公務員や大手企業は狭き門らしい。そこに「バングラ版太子党」の制度があるから、こんな悪法は廃絶せよと若者が大規模なデモをして、政府も廃止を決定した途端、裁判所が「廃止は認められない」という一八〇度違う判決を出し、若者や貧困層の怒りに火をつけてしまった。「バングラ版太子党」の恩恵を受けていた継続派は、廃絶派の若者たちと暴力的対決になってしまい、街中で血の雨が降る内乱になってしまった。観光だけでなく、外交にまで影響が及んでいる。

一億人以上の国民が居り、長らく農業国として世界最貧国競争を繰り広げる貧乏国家だったが、近年はコンピュータ関連人材の育成に成功して、ITと工業の新興国の仲間入りを狙えるまでに成長してきた。だが、毎年の台風（サイクロン）と水害に悩まされ、国家は貧乏からなかなか抜け出せない。

五十年前のパキスタンからの独立運動の時に、独立義勇軍として戦った人の子どもたちは、

さて、アジア系の移住者や出稼ぎ労働者の多い神戸市長田区で聞くと、バングラからは来ないとのこと。理由は、政府間の外交的交流が薄いこと、民間での友好活動が無いことがあるらしい。それ以上に、バングラが現在、積極的に移民を受け入れて救済しているロヒンギャ民族に対して、ミャンマー政府も日本政府も凄く気を使っているらしい。バングラに移民して国籍を取得して、バングラ系ロヒンギャ人として第三国に亡命や移住の申請をする可能性がある



のではないかと言うことだ。神戸市長田区には現在、ミャンマー人はとても多く移住してきており、バンングラ人が入ってくると、ミャンマー人やインド人との間で諍いが起こるのではないかと心配もある。

バンングラは人口が多く、平均年齢は二十代という若い国だ。最貧国を北朝鮮と争っていた頃とは比べものにならないほど教育レベル、生活レベルは高くなっている。道徳的にも不安は小さい。ひと昔前のベトナムと似ており、良い指

## 「市長が中国スパイ」のフィリピンを、日本は笑えない

フィリピンを混乱状態に陥れた事件は、北部農村地区のアリス・グオという女性市長が国家捜査局に中国スパイの嫌疑で逮捕されたというものだ。仮にも選挙で当選しているのだが、有権者の半分が買収されていたという話もある。その上に、アリス・グオという中比混血の女性が入は全く別人で、既に死亡しているが、その戸籍に「背乗り(はいのり)」したのが福建省のマフィア組織「郭華萍(クオフワピン)」だったと言うことらしい。

まず村の土地を買い取ってカジノと売春センターが建てられ、その中にマフィア事務所が作られて、村人には金をばら撒いて石垣の役目をさせていた。村人にとっては、福建省のマフィアは金をくれるし親切だと言うことらしいが、そのやり方は福建華僑の口口と酷似している。

アリス・グオという女性は、中国人マフィアの父親とフィリピン売春婦の間に生まれて、十七歳になって初めて戸籍を作ったそう。郭華萍はその戸籍を買い取ったのだろう。北朝鮮の拉致事件と様相が似ている。

南シナ海の領有権問題が有ることから発覚したようだが、両国が仲良しだった前政権時代には「税金さえ納めていれば問題ない」と言われていたレベルだ。フィリピンは後進国だから可哀想だと言う日本人は多いだろうが、その人は新宿や池袋にある中国マフィアの事務所をどの

導をすればアジアのエンジンになれる可能性を持つ国だ。おまけに、驚くほど親日的であり、戦後の日本人と似ている。

我が国は既に成熟している国家だが、バンングラはやっと成長しかけた「貧乏人の子沢山」国家である。昔の日本人と似て、いくら尊敬する国に対しても「助けて下さい」とは言わない矜持がある。大人の我々が、目配り・気配り・心遣いを見せてやる時ではないか。外交は、大人の国家の「気働き」で円滑に進むのである。

ように感じているだろうか。既に、マフィアのメンバーには日本国籍を取得している連中もあり、堂々と選挙に出馬している奴もいる。日中友好が公約になるのだから、日本人も負けず劣らず能天気である。

中国人マフィアの支部長が面倒を見ていた左翼女性議員の存在は有名だったが、保守系男性議員で美人留学生を秘書にあてがわれている奴もいるから困る。日本人も金と色で籠絡される旧来のパターンがあり、国家社会のことより自分自身の欲望と栄達が優先される現代の気風が怖い。



今回フィリピンでは、余りにもあからさまな展開だったが、福建より巧妙な広東の組織だったらどうだったかと考える必要がある。横須賀等の自衛隊では、中国人ホステスに籠絡されて結婚した隊員の噂は多いが、果たして機密保持は大丈夫なのだろうか。神戸では以前、潜水艦の試乗艦長が上級中国スパイのママに入れ上げていた事件があったが、海上幕僚監部が動き始めたら、ママの店は消えて無くなった。この店の常連客には、与党議員が数人いたことが明らかだったが、どんな情報が漏洩していたかは結局判らず仕舞いだった。フィリピンの次に中国マフィアやスパイ事件が火を噴くのは何処か? 世界中のマスコミが注目しているのだが、予想されているのがベトナム、ミャンマー、カンボジアだそう。日本はその次かも知れない。

## 台湾・高雄に安倍元首相の銅像を建てた人たち

台湾農業の父と呼ばれている日本人は八田與一であるが、南部を大農業地帯とする為に十年

の歳月をかけて完成させた烏山頭ダムは今でも台湾農業に不可欠なものだ。日本憎しで凝り固

まっていた蒋介石によって、永久に無視するように言われていたが、民主台湾が誕生したのをきっかけに「日本再評価運動」が展開され、八田與一の記念公園が誕生した(写真)。

高雄に行けば、道教の靈廟である「紅毛港保安堂」が建っている。バシー海峡で米軍に撃沈された船の乗組員一四五人の英霊を祀り続けているが、故安倍首相はこの英霊を日本に帰国させると保安堂に約束し、それで保安堂では管理人たちが感激の涙に暮れたそうである。英霊が日本に帰国できる日までは、管理人たちは泊まり込みで英霊を守ってくれた。それを知った安倍首相は泣き崩れたと聞いている。



その安倍首相が凶弾に倒れ、国葬が行なわれることになった時、ひと足早く保安堂に等身大の安倍晋三の銅像を建てようとする運動が盛り上がり、国葬より早く除幕式を迎えた。

台湾での昔の日本人と同様に、自分たちの為に命を懸けてくれたことは孫子の代まで忘れない気風を持ち、自分たちの為に泣いてくれた人には死んでも恩返しする気風を持つ。保安堂の管理人たちは、一四五人の英霊を祀っていたことも帰国させたことも、それは台湾人の美德ではなく「日本精神」なのだと考えるそうだ。一度は台湾の高雄を訪れたいものである。

## 各地に広がれ「ペイフォワード運動」

ペイフォワードとは二十年ほど前に大ヒットしたハリウッド映画の題名で、小学校で自由研究のテーマとして「町を良くする為にはどうすれば良いか」を提案した生徒が、困っている人に親切を行ない、親切を受けた人は三人に親切を送っていくというシステムを実践する物語である。小さな親切は数珠つなぎされ、荒んだ町に微笑みが戻りつつあった時、突如その生徒は殺されてしまう。また町が元に戻ってしまうのかと絶望しかけた時、町だけでなく遠方からも数えきれない人々が生徒の葬儀に駆けつけてくる。そうして生徒の灯した小さな親切数珠つなぎ運動は、確実に町を良くして立ち直らせた：

我が国には昔から「恩送り」「恩返し」という風習があり、恩が先に向かって送られれば、困る人を少しでも減らせると考えられ「金と恩は回っているから幸せになれる」と言われている。「恩返し」だけを考えるなら、それは甲乙の間だけでキャッチボールされるに過ぎない。

さて、この映画「ペイフォワード」のヒットで、アメリカの下町では面白い統計が発表された。「犯罪の加害者は空腹の場合が多い」：つまり腹が減っていたら、我慢できずにつまらない犯罪をしてしまうというのだ。

アメリカの下町には、最も安価な



食事として「ホットドッグ・スタンド」の小さな店が有るそうで、大抵は二ドルで売られるという。そこで、福祉団体や奉仕団体が中心になって、ホットドッグ・スタンドにお金を先渡しして、店頭で「一個無料券」を貼り付けることにした。腹が減って悪事を働きそうになった時でも、お金が無くて路頭に迷いそうな時でも、誰でも一枚の無料券を取ってホットドッグを食べ、気持ち落ち着かせて欲しいという願いを込めて。すると、無料券で助かったと思っただけは、今度は自腹で無料券を十枚二十枚と買って店頭に貼り付けた。これが数珠つなぎされ、下町に小さな明かりが灯ったのである。

日本でも最近、各地で「子ども食堂」を運営している団体などが呼びかけて、地元のパン屋の店頭で無料券を貼り付ける運動が広がっている。今はまだ「子ども限定」と言うものだが、やがてライオンズやロータリーなどが乗り出して、対象はもっと広げられるかも知れない。小さな「恩」が回るかどうか、そこが勝負どころだと腹を括っておく必要がある。

「子ども食堂」が単に児童福祉の面だけでなく、地域の安全保障と教育的運動であるように、「ペイフォワード運動」は小さな親切数珠つなぎによって「恩送り」「恩返し」を延々と続けることで、社会を明るくする効果を持っているものである。

各地で余裕のある団体は「ペイフォワード運動」の実践に取り組んでほしいものだ。



# 黒潮大蛇行で瀬戸内海がドブになる

地球的な環境異変が起きているのは周知のことだが、身近な所で起こっている異変がどれほどの影響と変化を与えるかは、政治的に議論されることが少ない。

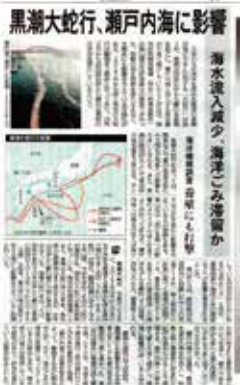
パリ五輪の開会式やトライアスロンでセーヌ川を利用するからと言って、パリ市長がパフォーマンスとしてセーヌ川で水泳して見せた時に「これはガンジス川か？」という感想を言ったフランス人は多かったそうだが、どんな環境の変化でも、気にして見るからそれが解るのである。

日本で最も穏やかな海は瀬戸内海である。毛沢東時代に来日した中共幹部が「知らなかった。日本には長江に匹敵するような川があったのか」と、瀬戸内海の遊覧船の上で叫んだ話は有名だが、僅か数百万年前に出来た瀬戸内海はとにかく素晴らしい海である。

太平洋の黒潮が日本列島にぶつかって流れていた頃に、九州・四国・淡路島などが入り込んだ強い海流によって削られ、今のようになつた。黒潮によって満潮と干潮の落差が大きくなり、鳴門海峡などでは世界的な渦潮が出来るようになっていっている。

その黒潮が二〇一七年から大蛇行を始め、豊後水道や紀伊水道から瀬戸内海に流れ込む海流が減少し始めたのだ。黒潮に乗って移動する魚も、瀬戸内海には少なくなってくる。

海洋開発研究機構（横須賀市）の調査では、関東の高温多湿気候、東北沖の海水温上昇によるサンマの不漁、養殖施設への栄養不足、海洋ゴミの瀬戸内海滞留、赤潮発生など数え上げられ



ばきりがないほど影響が出ているそうだと。同機構が人工衛星のデータを独自解析したところ、黒潮が日本から離れた処を通り始めて、豊後水道から瀬戸内海に流入する海水量が減少していることがはっきりした。紀伊水道から流出する海水量も減少しており、瀬戸内海で全体的に海水の動きが小さくなって「ドブ化」してきたことが分かっていた。

日本海側を流れる親潮や対馬海流等の蛇行は発表されていないが、世界的に海流は今までとは違う流れになっていっているか、またはななりつつあるだろう。気象や漁獲の問題には敏感な現代人だが、地球規模の異変が地球表面の生物全般に影響を及ぼすという基本を無視している。太陽の活動がほんの少し変化するだけで、地球は大規模な影響を受ける。生物の体にも心にも変化が起こり、今までと違う人になってくる恐れは充分にあるだろう。

瀬戸内海で「イカナゴが獲れない、タコが獲れない」と嘆いているうちはまだだが、瀬戸内海の海流が遅くなり、海底のゴミが滞留したまま動かなくなり、水が濁り、気候が変わり、そうなってからの国民運動が始まるのだろう。誰のせいでもないのに、国民運動などは無駄な努力かもしれないが、罪滅ばしの免罪符と考えれば微笑むしかないだろう。

黒潮大蛇行がこの先も続くと考えて、瀬戸内海の海洋環境が目に見える変化を迎えるのは数年後だと思われる。その頃に、絵空事のようなSDGsの話は何処へ向かっているだろうか…

読者投稿

## 能登半島地震 現地の声

〈第五回〉

田丸政盛

さて今回は現実の私達の避難生活をお伝えしたい。

私は自宅避難者で、車で二十分位の所に七尾市があり、加賀屋という大きな旅館を抱える和倉温泉がある。七尾湾を一望する風光明媚な所で、ホテルイカ等で知られる富山湾と海岸線と同じくする内湾である。ここは通称内浦と呼ばれ、私の出生地の輪島市側は外浦という。

その七尾市駅から山側に向かう所が私の住む中能登町である。ここは県内でも珍しく海が無

く、七尾市に比べ地味で、観光が目玉で無く山と田圃だけである。冬寒く夏は暑い。一月の地震発生後も寒気がきた上に家屋が半壊の為、すき間だらけで何しろ冷える。

私は三畳位の部屋に全面発泡スチロールを貼り、ストーブとサーキュレーターを併用し暖を取る。当然エコノミークラス症候群の危険性が高く、余震もある為、閉所恐怖症の方は一日で限界をきたすことだろう。実際に家内は参ってしまったが、他にどうする事も出来ない。

明かりは懐中電灯のみで節電よりも漏電火災警戒の為である。発生時の輪島市の火事は密集地の上、老朽家屋の漏電が原因だからである。私の家も老朽家屋で、配電に不安がある。車中泊の方々同様、体にかかる負担は多く、実際に災害関連死した方もいる。

今は夏になりレジャー花盛りだが、恨めしく思う声も時折り耳にする。地震がなくなるとも雪溶けの春は「春眠暁を覚えず」は誰もがわかる事だが、医学的には冬の疲れが春と共にまとめてくる為であり、震災及び避難生活その他の要素が、そこへ加味されるわけである。

被害の大きな場所はおのこと、日が立つにつれじわじわと体力が奪われるので持病ある者や、障害者、高齢者には堪える。年は若くても精神的に参ってしまうので厳しい所である。子どもを残し妻が衰弱死した方もおられる。心臓察するに余りあり、もはやかける言葉が無い。

総合病院も看護師等が被災し、人数が回らない処もある。私見であるが誰もが自衛官のように強くはなく、自然災害による不安や恐怖先の見えない長期野営生活は無理がある。



ガスは可、電気可、水道不可。応急で破損箇所を見つけペットボトルで採取する。発生後なので用心兼ねて煮沸である。便所も不可、風呂は無くシャワーはあるが洗濯機共に使えない。当然断水配管断裂と灯油ボイラーのため湯は出ない。

そして食糧及び現金が無い。例を挙げると私達が風呂に入ったのは発生から三ヶ月後のことである。燃料や配管業者なども被災者のため動く事ができない。役場等の支援は当然無い。水を買に行っても、ひと家族二本まで、あつという間に無くなる。次に買いに行っても入荷待ちである。これは各店舗営業再開後の話である。

(奇しくも、この記事書いている今、宮崎の地震がきた。発生時刻がこちらと大差ない時間だったので不安な一夜を過ごした方も多と思う。)

断水は今でも珠洲や輪島の一部であり、輪島などは応急復旧後、再度配管が割れた。私は珠洲にも向かったが、役場の方は参り切っていたものだ。前年の6強の地震で市長室にクラックが入っているとの事で、市長は群発地震による疲れが出ているところに加えて本年の地震である。

## ■イルカのスズちゃん

珠洲に關しては野生のイルカのスズちゃんが海水浴客などに人懐こく人気者だったが、いつの間にか福井越前海岸その他福井海岸に移動し、海水浴客に体当たりしたり噛み付いたりして、粗暴になり報道にも出たのはご存じだろう。珠洲市としては「スズちゃん帰って来て」との思いがあったが、私から見るとイルカは知能が高く言語も話す。群発地震に対しての人間に対する警告を伝えたかったのかも知れない。この話は科学的根拠は無いが、人間の驕りを察していたのでは？としか私には思えない。その後ほんとうに地震が来た。イルカはテレパシーと云うか予知能力を持つ高等哺乳類なので、ハイテク科学や医学一本の現代ではスズちゃんも呆れ返ったのだろうと私は思う。私は生まれつき野生の生き物や植物に好かれる為、そんな気がするのである。



さて珠洲の正院地区の状況は悲惨この上なかつた。車の振動だけで家屋が崩れそうな有様であり、空いた駐車場ではドラム缶で火を焚き暖を取る姿を見かける。皆、顔に正気や覇気が無く沈んでいる。良い状態では無い。夜間でもあり京都府警の案内により目的地に付くことができた。派遣の京都府警曰く自分達にも出来る事があると云っていたが、地震と合わせて土地勘がなく、苦労することは即わかる。自衛官と同じく、現場に立つ者は厳しい状況に直面せねばならない。頭が下がる。

珠洲は日本の最西端の最果ての地であり源平時代に平時忠が流された地である。通称大納言である。奥能登は平家筋の集まりの様な所であるから、何処となく時代の浪漫を感じる雰囲気がある。私の出生地辺りも平家の揚羽蝶紋を掲げるし、古い京の風習が色濃く残る。

思いを馳せつつ珠洲を去った帰路、凍った冷気で車窓が凍る。書き出せばキリがないが、能登から金沢まで現地確認はひと通り済ませて来た。不都合を言えばキリが無い。私達夫婦は小麦粉を水で溶いて温め、おもゆがわりに食べていた。かなり瘦せたが、以上私の住む中能登は被害が少ない分、目立たず他所からきた私達が困窮しているのであり他の町民とは違う。皆、自宅で風呂にも入り被害が大きな所からみれば雲泥の差である。



今でも困窮であるがさておき今年も終戦の日が近い、何かしら感慨深いので最後に一つ。皆様「雪割り草」と言う花をご存知だろうか？私の出生地の村は、日本でも珍しい雪割り草の群生地なのである。能登半島外浦の厳しい波風を受け、寒い冬に山中雪の下で春を待ち、雪を割って花を咲かすのである。春を代表する桜の様な大役でもなく、ひっそり表に出る事無く可憐で愛らしい花を見せる。山道を登り灯台に着き、一人時間を忘れうたた寝した頃が懐かしい。しばし灯台からの眺めと春の抜ける青空と汐風を

浴びばんやりする。以前家内も景色や雪割り草に感動し、言葉には出来ないと話していたことがある。帰りはまた雪割り草を見ながら下りて、滝に行き滝に打たれる。まだ春なので冷たいが爽やかだ。今年は地震で無理だし孤立集落なので、土砂崩れなどで花も滝も駄目だと思うが、私はそんな所で生まれた。いつまでも辛く悲しい事は続かない。いつかは終わる。困難に耐え雪を割って目立たず花を咲かす雪割り草の花言葉は「忍耐」である。

〈完〉

## 憲法改正議論の今後は「親ワシントン保守」に警戒

親米ではなく、親ワシントンというのは、新エスタブリッシュメントに嬉々として従う政治家や財界人を指す言葉である。彼らこそ、日本とアメリカは一枚岩とサービストークを世界中で振りまいている張本人だ。

自民党の党是として「憲法改正」は昭和三十年から謳われているが、親ワシントンの連中がアメリカ国務省が喜ぶように「憲法改正とは、アメリカが作った憲法を認めた上で、それを現代風に改正する」と言い換えているそうだ。憲法改正が持つ意味は、帝国憲法（欽定憲法）は今も生きているのか、それとも死んだのかを前提として語る識者が多いのだが、親ワシントン

の連中は「緊急事態条項と国土防衛軍の規定は九条に含んでも良い」と言うらしい。アメリカの日本国内での自由活動を制限することになる「スパイ防止法は現刑法に追加すれば良い」と言って憲法中に入れることは認めないそうだ。マスコミが伝えるアメリカ民主党左派の主張と似ていると思うのだが、どうやら現政権では改憲派の何割かは親ワシントンの議員らしい。口先では右翼好みのリップサービスだが、内心は星条旗と日章旗は上下の関係らしい。情けないことである。リップサービスに騙されることなく、本質を見極めた議論をお願いしたいものである。

## 小学校の「学校崩壊」が深刻だ

神戸市立のある小学校の校長先生から嘆きの声を聞いた。

どこのクラスも、約半数が普通の子供たちだが、あと半分は情緒不安定で一日中ペチャクチャと話をしているそうだ。怒っても聞かないし、親を呼んでも、子供を拡大したような親が来るので意味が無いというのだ。

特定のクラスが崩壊しているのではなく、学校全体が同じ状況で崩壊していると言う。真面目に勉強する子供と、情緒不安定の子供は、不思議にトラブったり迷惑したりが無く、別次元で学校生活を送れている部分では助かっているとか。

多動性障害などの病気ではないらしいが、新しい時代になってきているということだろう。一日中話し続けたり、ゲームし続けたりする体力や根気はあるのに、運動や勉強は出来ないのである。まさに新人類である。この子供たちが二十年もすれば親になり、もつと凄い新人類の子供が出てくるだろう。ルールやモラルで子供を教

育する前に、新人類は違う人種だと考えておく方が良いかも知れない。教師の希望者がいなくなるのも当然だ。古い頭の世間知らずが「教師は聖職だ」などと言っているようでは、日本は行き詰まることになる。教員でもそうだが、神社の神職も驚くほど希望者が居なくなっている。だから給料を増やそうという安易な考えの世間知らずたちが指導部にいる間は、解決も進展も期待できないことは認識しておくべきだろう。



## 地方事務局活動報告

### ■関西事務局

◇八月二日（金）

午後六時半より、尼崎市のタイポハウス軸索社に於いて、むすびの集ひ勉強会。六名出席。学習テーマは「宗教改革と政教分離」など。